

中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会の方向性（素案）について

1 かすみがうら市の現状及び将来の見通し

【人口の推移と見通し】

本市の人口は、1995年の45,288人をピークに減少傾向にあり、2020年には40,087人に、さらに、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」によると、2050年には、27,514人まで減少すると推計されています。

【財政の状況】

生産年齢人口の減少に伴い、市税が減少する一方で、高齢人口の増加に伴い扶助費がさらに増加することで、厳しい財政運営が予想されています。

【老朽化の状況】

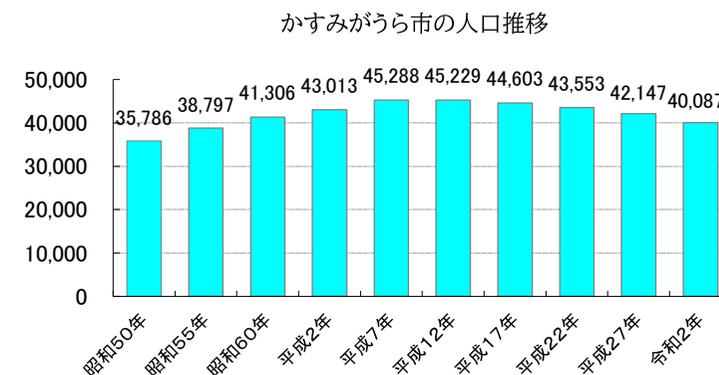
市内公共施設については、築30年以上が64.7%を占めており、既に、大規模改修や更新の大きな波が到来しています。

【市公共施設マネジメント計画の基本方針(令和7年3月策定)】

基本方針1：将来の人口規模と財政の見通しに応じた公共施設総量の適正化

基本方針2：市民ニーズを踏まえた施設の集約化・複合化による公共サービスの向上

基本方針3：施設の安全性・機能性の確保と長寿命化



中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会の方向性（素案）について

2 検討委員会の概要と基本方針

【検討委員会の概要】

まちづくりを専門に研究している学識経験者(大学教授)をはじめ、区長会の委員、図書館協議会の委員、PTA関係者など10名の委員に、「中心市街地にどのような公共施設・機能を整備することが可能か」を検討している委員会。

【検討委員会での基本方針】

- ・ 実現可能な計画を立案
- ・ 次世代(子供たち)へ過度な負担とならない計画の立案
- ・ 市公共施設等マネジメント計画の基本方針にそった計画の立案



【基本計画(基本方針を踏まえた取り組み)】

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ① 既存施設の有効活用 | ② 施設規模の適正化と地域コミュニティの強化 |
| ③ 市民サービスの継続的な提供 | ④ 公共施設の複合化・多機能化 |
| ⑤ 民間活力の導入 | ⑥ 有利な財源や基金積み立てなど財源の確保 |

中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会の方向性（素案）について

3 検討委員会で再編を検討している公共施設

検討委員会で検討している施設概要

施設名	下稲吉コミュニティセンター	やまゆり館	大塚ふれあいセンター
建築年(築年数)	昭和62年(38年)	平成20年(17年)	平成8年(29年)
延床面積	1,153㎡	1,024.50㎡	292㎡
敷地面積	3,179㎡	6,636.30㎡	1,255.08㎡
駐車可能台数	49台	100台	13台
保有状況	市	市	市
主な利用状況 [利用人数/利用時間数] ※令和5年度実績	料理実習室[820人/254h] 研修室[2,936人/945h] 講習室[2,966人/604h] 軽運動室[3,077人/1,314h] 会議室[4,292人/791h] 多目的室[7,496人/2,467h]	会議室・相談室[3,809人/ -h] ホール[3,152人/ -h] その他[28,981人/ -h]	集会室[2,495人/737h] 和室[407人/118h] 調理室[39人/14h]



コミュニティ機能を含む公共施設の位置図

中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会の方向性（素案）について

4 検討委員会での方向性(素案)について（令和7年6月24日現在）

	令和8年度～	令和18年度～
<ul style="list-style-type: none"> ●やまゆり館 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援機能 ・コミュニティ機能 ・健康増進機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●やまゆり館 <ul style="list-style-type: none"> 図書やカフェを中心とし、多世代が交流を図る場の整備 ・図書・学習機能【新機能】 ・子育て支援機能 ・コミュニティ機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●やまゆり館 <ul style="list-style-type: none"> ・図書・学習機能 ・子育て機能 ※やまゆり館に新施設を整備 （やまゆり館北側市有地2094.41㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・児童館 ・コミュニティ機能【集約】 （機能ごと必要な面積は確保） ※親水公園の整備 （やまゆり館北側市有地5201.32㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・多世代が集える公園整備 ・マルシェ等が開ける広場整備
<ul style="list-style-type: none"> ●下稻吉コミュニティセンター <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●下稻吉コミュニティセンター <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ機能 	
<ul style="list-style-type: none"> ●大塚ふれあいセンター <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ機能 ・児童館 	<ul style="list-style-type: none"> ●大塚ふれあいセンター <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ機能 ・児童館 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●ウエルネスプラザ <ul style="list-style-type: none"> 健康増進機能【集約・拡充（やまゆり館の健康増進機能分を追加）】 	

【財源】

・図書を通して多世代が交流する場として整備することで「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用 補助率1/2 交付上限額10億円

中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会の方向性（素案）について

検討委員会で検討している新施設（配置案）



検討委員会で検討している新施設（イメージ）



※配置案及びイメージについては検討案を
確定するものではありません。